

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現のために  
**[メリハリのある働き方の実現]**

## 職場のコミュニケーションの活性化で 業務を効率化し、残業時間を削減

CASE 3

株式会社日立製作所



株式会社日立製作所  
 労政人事部 労務課 課長

三輪 高嶺氏

—ITを活用して労働時間管理を  
 されているそうですね。

**三輪** ● 当社では、残業時間に段階的な目標時間を設けており、パソコンの電源のオンからオフまでの時間を把握することで、勤務時間を管理しています。目標時間を超えそうになると、パソコンのポップアップ画面で自動的に知らせる機能もあります。

—どのような効果がありますか。

**三輪** ● お知らせは、本人だけでなく上長にも届くので、上長が部下の勤

務実態を定量的に把握でき、部下に声掛けするきっかけにもなっています。働き方を変えるには、同じチームの社員がお互いの仕事の状況を把握し合うことが重要です。

システム導入のみならず、全社的な目標設定や意識改革等を行ったことにより、08年度と前年度を比べると、長時間勤務をする社員数は半減しました。—お互いの状況把握という点で、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションも大切にしているとか。

**三輪** ● 多忙な中でお互いの状況を把握するためには、部下は上長に適切なタイミングで相談・報告し、上長は部下の話の真意をくみ取れなければなりません。そのため、マネージャー層を対象に、「人の話をしっかり聞くこと＝傾聴」と「自分の考えをきちんと伝えること＝アサーション」を重視したコミュニケーション研修を行っています。本研修は3年間で約4000人が受講する予定です。

—ワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進で工夫していることは？



株式会社日立製作所  
 代表執行役 執行役員 会長兼執行役員社長

川村 隆氏

日立製作所が目指すWLBとは

活力ある職場風土の醸成

**三輪** ● メリハリのある働き方に向けて社長をはじめ、各事業部の部門トップがメッセージを発信しています。具体的なアプローチは、各事業所ごとに、職場の実態に合わせた取り組みを進めています。例えば、朝礼で退勤時間を宣言している事業所や、集中タイム（メール・電話・会議をせず、集中する時間）を行っている事業所などがあります。—今後の方針や期待することは？

**三輪** ● メリハリのある働き方を推進することで活力が生まれ、業務の質や業績の向上につながると思います。

### WLB支援に取り組む 10社の事例を連載中!

※( )内は掲載(予定)号

#### [休暇の取得促進]

株式会社電通 (10/5号掲載)

鹿島建設株式会社 (10/12号掲載)

#### [メリハリのある働き方の実現]

株式会社日立製作所 (今回掲載)

株式会社大和証券グループ本社 (10/26号)

全日本空輸株式会社 (11/2号)

キヤノン株式会社 (11/9号)

#### [仕事と育児・介護の両立支援]

三井化学株式会社 (11/16号)

日産自動車株式会社 (11/23号)

株式会社高島屋 (11/30号)

住友商事株式会社 (12/7号)

今回の  
ポイント

ITの活用とコミュニケーションの促進で、  
 まずは現状を「見える化」する